



キリン食生活文化研究所

2013年12月12日

研究員が読みとく vol.01

～データから読みとく働きかたと飲食との関係～

働きかたが変わると飲みものはどうなるのか？

データから読みとく働きかたと飲食との関係

働きかたが変わると飲みものはどうなるのか？

SOHOが増えると“とりあえずビール”が消える？ 働きかたが多様化しています。ICTの恩恵もありSOHO*やテレワーク・モバイルワークを取り入れている会社や勤め人も増えています。最近では特定の組織に属さないノマドワーカー**が活躍しています。今後、いわゆる“会社の建物”以外での仕事が増えていくでしょう。そんな世の中で私たち生活者はどんな価値観を持ちどんな飲みかたをするのでしょうか？

サマリー

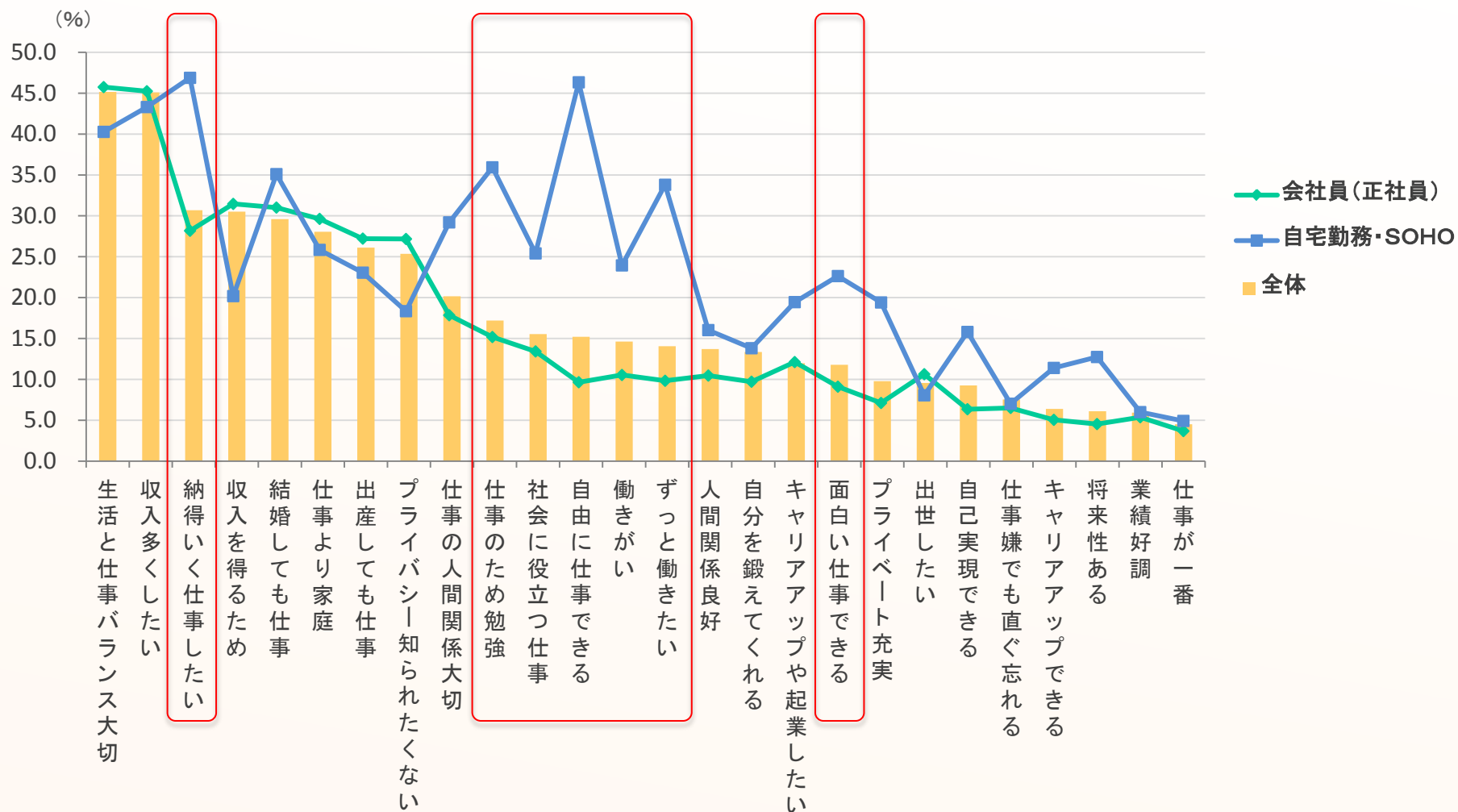
- SOHOの仕事に対する価値観は会社員とは異なり、「納得いく仕事がしたい(SOHO47%、全体31%)」などの数値が高くなっています。一方、「収入を得るために働く(SOHO20%、全体31%)」は全体よりも低くなっています。SOHOの人たちは、お金よりも仕事の内容を重視する価値観を持った人々であるように思えます。
- SOHOでは交流相手が多いのも特徴のようです。「趣味の仲間(SOHO33%、全体24%)」、「ネットの仲間(SOHO22%、全体9%)」が全体と比較して多くなっています。また、SOHOは平日の夜も仕事をしています(SOHO33%、全体13%)。
- アルコール関連では、家でいろいろな種類の酒を飲む特徴も見られました。例えば「ワイン(SOHO54%、全体35%)」、「焼酎(SOHO39%、全体27%)」などです。また、SOHOのカンパイは自分の好きな酒で。“みんなが頼むからとりあえず〇〇”という考えは少ないことがわかります。

*SOHO: スモールオフィス・ホームオフィスの略。パソコンなどを利用して、小さなオフィスや自宅などでビジネスを行う事業者。

**ノマドワーカー: 自宅や会社ではなく、喫茶店などでタブレットPCなどを使って仕事をする人。ノマドは遊牧民の意味。

1. 働きかたに対する価値観

Q.現在のお勤め先に対する考えをお聞かせください。



SOHOの働きかたに対する価値観は、会社員とは異なる

納得いく仕事がしたい。自由に仕事ができる。
だからこそSOHOを選んでいる。

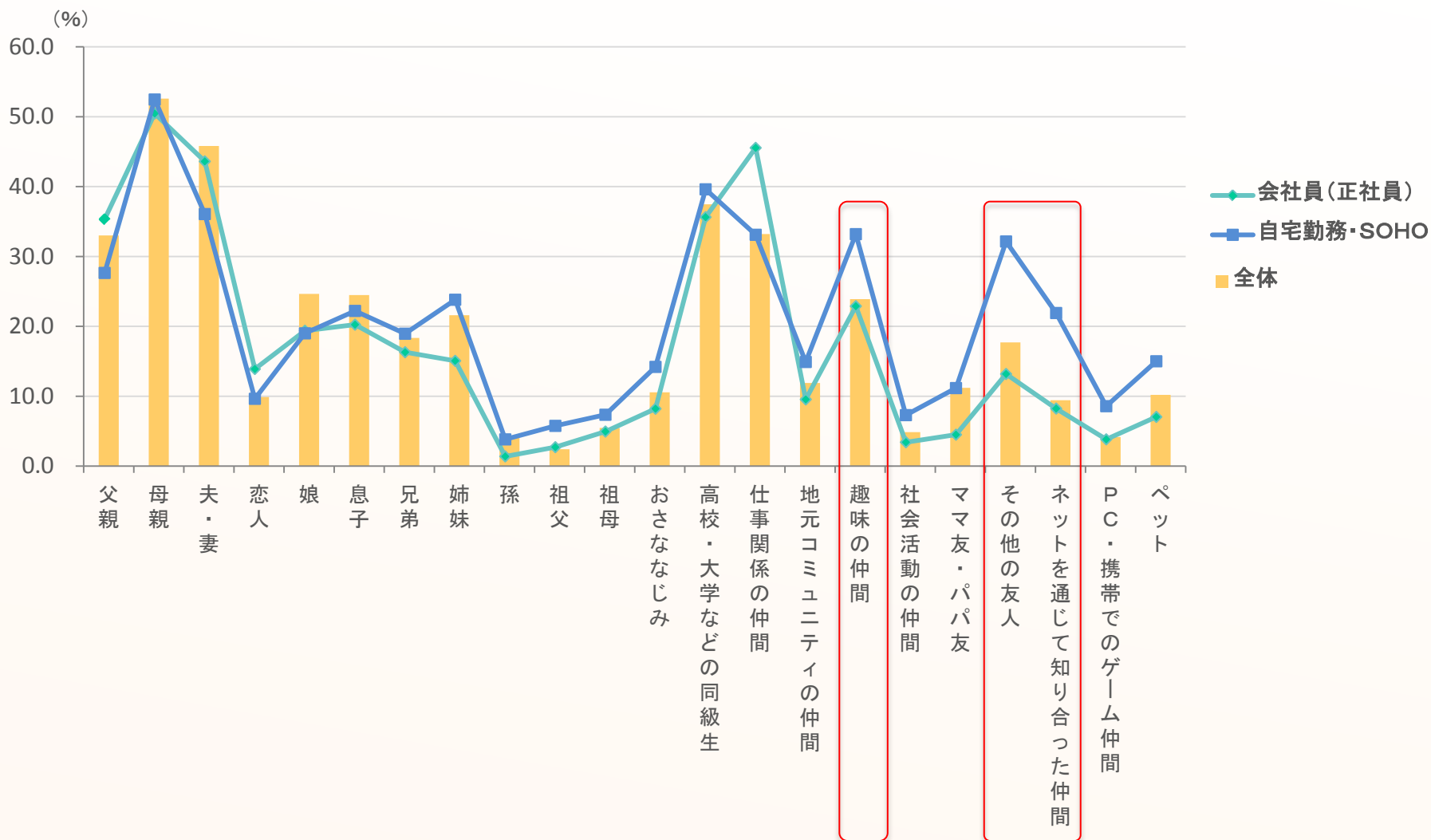
グラフを見ると、SOHOの仕事に対する価値観は全体とはだいぶ異なっていることがわかります。「納得いく仕事がしたい(SOHO47%、全体31%)」、「仕事のため勉強する(SOHO36%、全体17%)」、「社会に役立つ仕事がしたい(SOHO26%、全体16%)」、「自由に仕事ができる(SOHO46%、全体15%)」、「働き甲斐を求める(SOHO24%、全体15%)」、「ずっと働きたい(SOHO34%、全体14%)」、「面白い仕事ができる(SOHO23%、全体12%)」などの項目が全体より高くなっています。その反面、「収入を得るために働く(SOHO20%、全体31%)」は全体よりも低くなっています。SOHOは、お金よりも仕事の内容を重視する価値観を持った人々であるように思えます。

働くうえで大切なこと

企業に勤めるサラリーマンは企業戦士のイメージがあり、「仕事のために勉強をする」というのがもっと高いだろうと思っていたのですが、SOHOの人たちのほうが遥かに高い結果となりました。「ずっと働きたい」というのも同様。もっとも、企業に勤めている人は、定年になれば働きたくても働けない状況になることを知っています。この辺りがアンケート結果に影響しているかもしれません。“生活と仕事のバランスを大事にしたい”、“収入を多くしたい”というのは、職種によらず上位でした。どちらも、誰にとっても大切です。

2. 普段の交流相手

Q.あなたが普段、交流することがあるお相手はどなたですか？



SOHOの普段の交流相手は多い

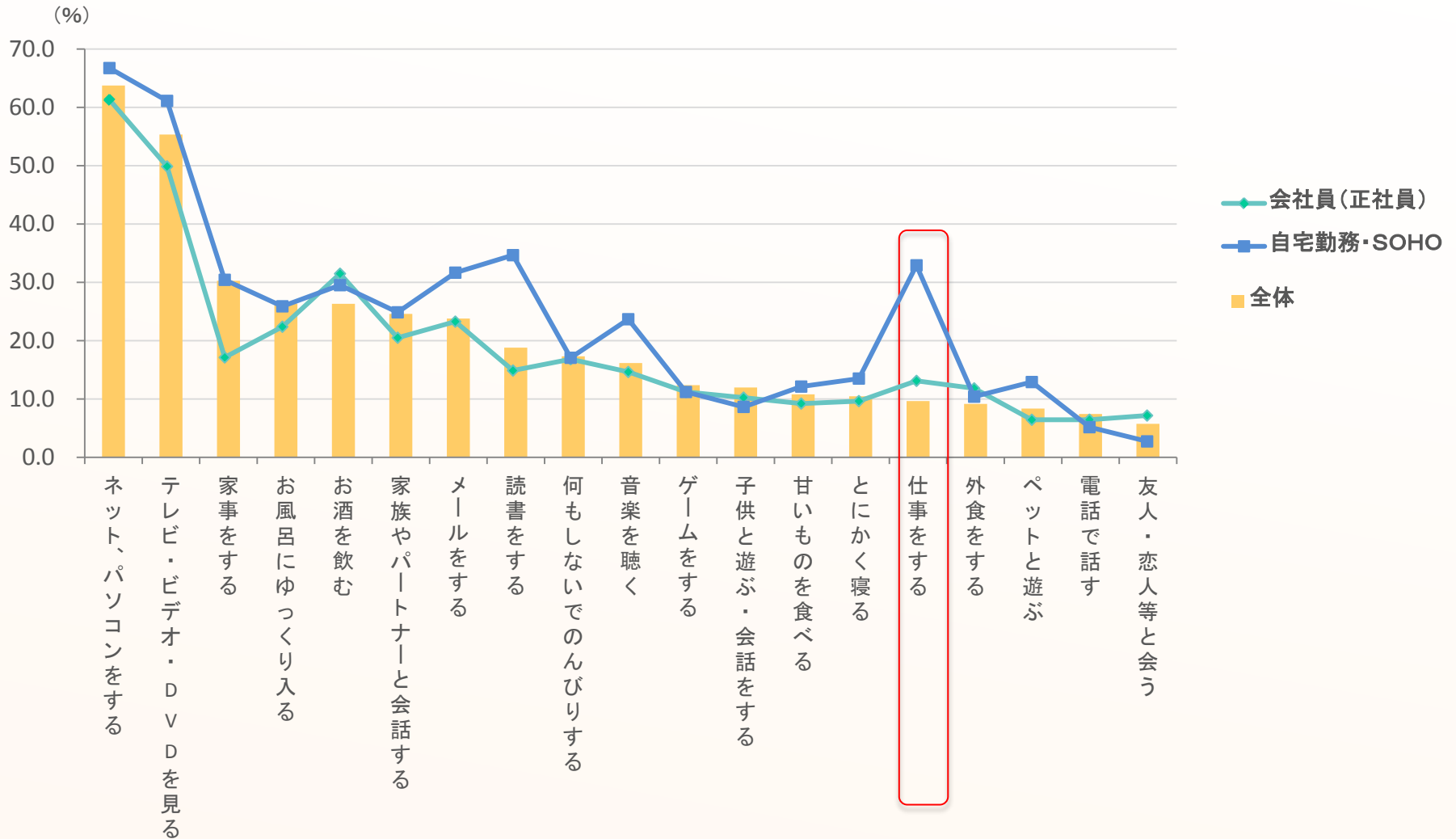
趣味の仲間、友人、ネットで知り合った仲間との交流がさかん。

普段交流する相手についても聞きました。SOHOも多くの項目で全体と変わりありませんが、「趣味の仲間」、「ネットで知り合った仲間」との交流が全体よりも高くなっています。モバイルワークはネットで繋がっているため、SOHOはネットで仲間と知り合う機会が多いようです。「その他の友人」も会社員や全体と比べて高くなっています。「仕事の仲間」とほぼ同数です。

オフ会、宴、交流会、呼び名は様々ですが、筆者の実感としてもSOHOや自営業の方々のほうが会社員よりも人と交流する回数が多いと感じています。このあたりは今後実際に研究員がフィールドワークに出て体験レポートを書く予定です。交流する相手が変われば飲みもののありかたや種類もきっと変わることでしょう。

3. 平日の夜の過ごしかた

Q.平日の夜はどのように過ごしていますか？



SOHOは平日の夜も仕事をしている

SOHOは公私を隔てる壁が低い？

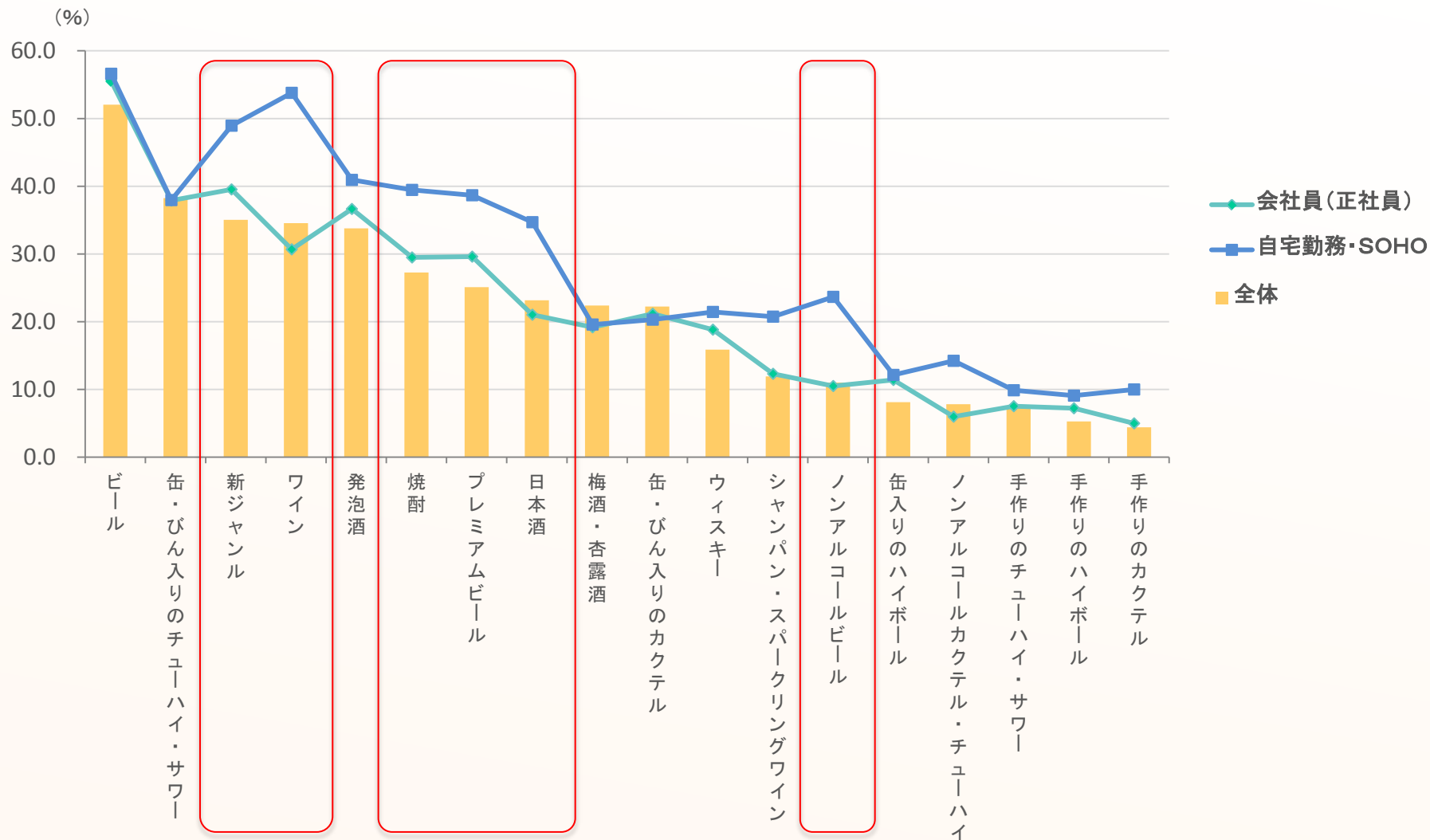
SOHOの人たちは平日の夜に何をしているのでしょうか？ ほとんどの項目は全体と比べて同じです。異なるのは、「仕事をする」と答えた比率が全体に比べて非常に高いこと。「読書」も多くなっています。公私を隔てる壁が低いように思います。

会社員や公務員など勤め人は、会社を出たら、家に着いたらなど、あるきっかけで無意識のうちに「私」になるのだと思います。

会社に通わないモバイルワークというスタイルが多くなるということは、平日の夜も気がいたら仕事をしている、という人が増えるということかもしれません。そうすると飲食にかかわる行動にも影響があるように思われます。仕事とプライベートの境界が小さいからアルコールは飲まなくなる？あるいは逆に、プライベートに戻るきっかけとしての行動の1つとして酒を飲むことが重要になる？いろいろ仮説が浮かびます。仕事のことを考えるなら、弱いアルコールが好まれるということでしょうか。逆に仕事から離れるためには、シャンパンやワインなど非日常的なアイテムが求められそうです。

4. 家で飲むお酒の種類

Q.家庭で普段お飲みになっているお酒の種類はなんですか？



SOHOは家で色々な種類の酒を飲む

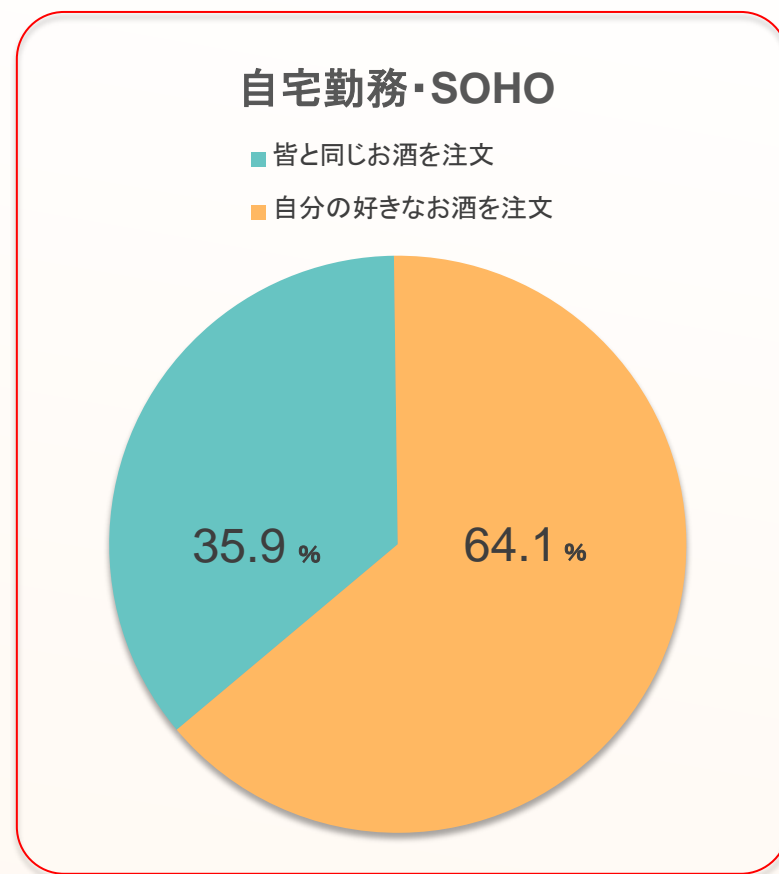
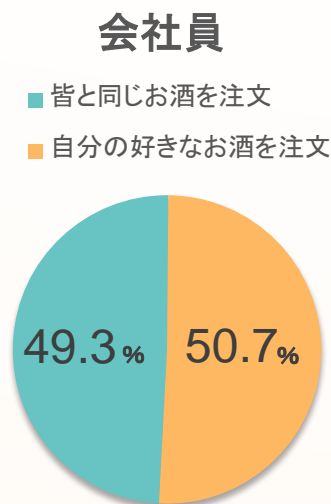
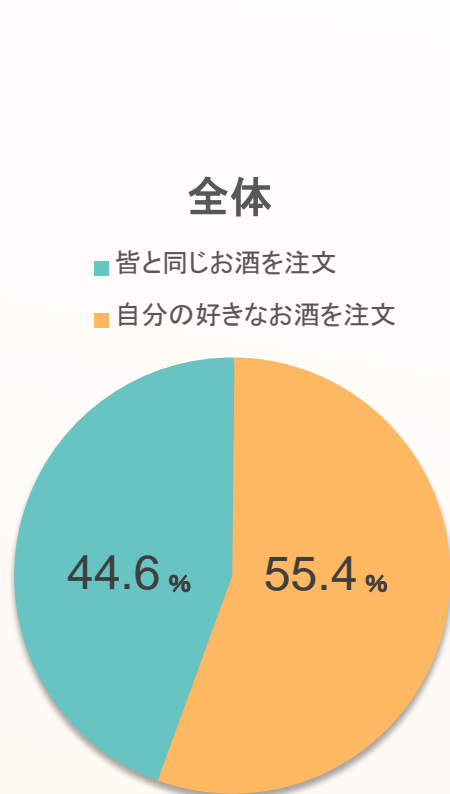
ワイン・新ジャンル・発泡酒・焼酎・プレミアムビール
日本酒・ノンアルコールビールが多い。

全体平均と比べるとSOHOが家で飲むものは、「ワイン」・「新ジャンル」・「発泡酒」・「焼酎」・「プレミアムビール」・「日本酒」・「ノンアルコールビール」が多くなっています。会社勤めと異なり、家で働くようになるといういろいろなお酒を試す人が多くなりそうです。特にワインはビールと並ぶくらいの多さとなっています。

ノンアルコールビールの数値は小さいながら、SOHOでは会社員の2倍になっています。働きながら飲むから？それとも他に特別な理由がある？これも今後深掘りしたくなる調査結果です。

5. 一杯目のお酒の飲みかた

Q.最初に頼む一杯目のお酒はどんな風に注文することが多いですか？



SOHOのキャンパイは自分の好きなお酒で

SOHOが増えると、“とりあえずビール”はどうなる？

最初に頼む一杯は“とりあえずビール”が有名です。しかしながらSOHOは64%が自分の好きなお酒を注文すると回答しています。近い将来、キャンパイがどのような方向に行くかを示唆する結果だと思えます。

みんなが同じ種類のお酒を飲むから親睦が深まるのか、それとも「かんぱーい」と言いながらそれぞれ思い思いの種類の酒とグラスを持ち上げればそれでいいじゃないかとするのか。正解はありませんが、これからも注目していきたい動きです。

筆者自身も、何人かのSOHOあるいは個人事業者に飲みの席で聞いたところでは、「確かに、一杯目をみんなと同じという感覚はあまりないですね。私はビールでキャンパイ派なのですが、これはみんなが飲むからではなくて、私がビールを好きだから。」という方が何人もいました。

6. あとがき

私たちは、働きかたが変わると価値観が変わり、価値観が変われば飲酒や飲料に対する考えかたや行動が変わると考えました。今後働きかたは大きく変化していくでしょう。そこで、新しい働きかたの価値観を少し先取りしていると考えたSOHOに焦点をあてて調べてみました。SOHOは全体とは異なった仕事観を持っているようです。SOHOそのものと共に、会社員の中に”SOHO的ワークスタイル”が今後増えると予想されます。そうになると働きかただけでなく、お酒や飲料の飲みかたまで変わるはずです。

今後、データから言えることだけでなく、自らモバイルワーカーを体験する予定です。また、SOHOや関連する人たちにヒアリングもしていきます。

ではまた。次回の報告でお会いしましょう。